

拠出金・基金
の名称

国連食糧農業機関拠出金

種 別

イヤマークのみ 一部イヤマーク

【拠出先の国際機関名】国連食糧農業機関(FAO)

【所管官庁担当局課・室名】農林水産省大臣官房国際部海外投資・協力グループ／国際機構グループ

【当該任意拠出金の目的・用途等】

FAOは、世界の食料安全保障の確立のため、国際的な検討の場の提供、国際条約・規範等の策定・執行、世界の食料・農林水産物に関する調査分析や情報の収集・提供、開発途上国への技術協力を実施しており、分担金に加え、各国が重要と考える分野に任意に拠出して事業等を実施している。

我が国は、平成28年度の任意拠出金事業を通じて、アフリカにおけるコメの農業統計情報整備及びフードバリューチェーン構築に係る情報分析、アジアにおけるフードバリューチェーン構築支援、世界農業遺産(GIHAS)への取り組み支援、南南協力を活用した気候変動による食料安全保障問題に対処する体制の整備、生態系に配慮した持続的な漁業管理の実現や国際的な水産資源管理の強化、食品安全、動物衛生や植物防疫関連国際基準の策定への参画及び普及のための人材育成支援、アフリカ・アジアにおける栄養不足人口の削減への取り組み等を実施した。

【最近3年間の我が国支払額及びODA率】

単 位	邦 貨 (千 円)	外貨1 (千米ドル)	外貨2 (千)	レ ー ト	ODA率(%)
平成28年度	546,028	4,550	-	1米ドル=120円	87%
平成27年度	530,815	4,826	-	1米ドル=110円	85%
平成26年度	420,229	4,332	-	1米ドル= 97円	96%

【当該任意拠出金等の意義、成果等に関する我が国としての評価】

平成28年度に実施した任意拠出金事業では、(1)ウガンダ、コートジボワール、エチオピア、ベナンにおける農業統計やコメの販売促進に関する能力向上研修(2)ローマにおけるGIAHSサイトの申請・選定作業を行う委員会の開催、国際会議等の場における各GIAHSサイトから得た経験・教訓の発表・共有、中南米やアフリカでのGIAHSの理解促進に関するワークショップの開催(3)インドネシアを対象とした気候変動下での食料安全保障への影響を地図化するために必要なITや経済分野における3件の能力向上研修(4)ミャンマーにおけるコーデックス委員会とコーデックス規格に関する活動の理解促進を目的とした研修(5)カリブ海島嶼国などにおける国際的な漁業産業の動向に関する情報交換を目的としたワークショップなどを実施した。

各事業の成果は、世界的な食料安全保障や気候変動対策などに貢献するものであると評価できるため、我が国が拠出する意義は大きい。

【備考】